

平成29年度 事業報告

1 概況

我が国においては、景気の緩やかな回復に加え、現役世代の労働力不足と相まって、有効求人倍率は、高水準で推移するとともに、人手不足は、深刻な状況となっている。

今後、少子超高齢社会の進展に伴い、労働力人口が一層減少することが見込まれる中、就業を通して高齢者の生きがいがづくりや健康づくりなどに取り組むとともに、人手不足分野や現役世代を支えるシルバー人材センターの役割は、これまで以上に重要になっている。

このような中、本センターの平成29年度受注状況に関して、まず、請負契約での受注件数は、個人からの受注が減少したことにより、21,462件となり、前年度に比べ1,191件、5.3%の減少となった。

また、受注金額は、民間事業者、個人などからの受注の減少により、611,974千円となり、前年度に比べ30,072千円、4.7%の減少となった。

一方、派遣事業にかかる受注件数は、1,261件となり、前年度に比べ微減となった。

また、受注金額は、124,157千円となり、前年度に比べ10,054千円、8.8%の増加となり、これらを加えた本センター全体では、受注件数は、22,723件、前年度に比べ1,196件、5.0%の減少、受注金額は、736,131千円、前年度に比べ20,018千円、2.6%の減少となった。

また、会員数については、継続雇用制度の運用や幅広い産業での深刻な人手不足の影響などから、平成29年度末で1,770人となり、前年度末に比べ42人、2.3%減少した。併せて、就業者数は、個人からの受注が減少したことなどにより減少した。

具体的な施策としては、会員の加入促進を目指し、就業相談や入会説明会を実施するとともに、シルバーフェアの開催や高松市共同募金委員会からの助成を受けて「遍路への観光案内・お接待事業」、さらには街頭啓発活動や地域でのボランティア活動の実施など様々な工夫を凝らし、本センターの周知・啓発に取り組んだ。

また、国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の活用や「地域就業機会創出・拡大事業」(剪定枝葉等リサイクル事業)の実施、また、介護保険制度新総合事業や派遣労働会員のキャリアアップを図るための教育訓練の推進など、積極的に就業の拡大に努めた。

一方、安全就業に関しては、自動車運転業務に従事する会員に対し、新たに設定した年齢制限や研修制度の運用を始めるとともに、除草作業中の飛散防止対策として安全対策用具の配付を行ったほか、引き続き、事務局だよりなどを通じた安全就業の周知・啓発を始め、安全講習会や職場安全パトロール、事故を起こした会員を対象とした特別研修の実施など安全就業の推進に取り組んだ。

さらに、平成29年度シルバー保険適用の傷害・賠償事故件数は、前年度に比べ大幅に減少したものの、昨年10月、就業中の会員が死亡するという痛ましい事故が発生したことを受け、事故の再発防止を目指し、事故の危険性が高い就業について複数就業の徹底や安全就業基準の改正・周知などにも取り組んだ。

また、適正就業に関しては、長期間、同一職場に就業する会員を対象に適正就業の徹底や就業先への巡回調査の実施などにも努めた。

併せて、担当理事制の推進や本部組織体制の強化、老朽化した本部中館の撤去や南部地区センターの再移転、個人情報保護規程の改正など、関係団体とも連携しながら、将来を見据え、本センターの円滑・着実な事業運営に努めた。